

表 令和 6 年 2 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	解説情報 第 10～18 号	2 日、5 日、9 日、12 日 16 時 00 分 14 日 20 時 10 分 16 日、19 日、23 日、26 日 16 時 00 分	噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。14 日 18:33 の爆発では、噴煙が火口縁上 5000m まで上昇。昭和火口では噴火及び火映は観測されていない。 現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、9 日は 3500 t/day で非常に多く、25 日は 2200 t/day で多い状態。火山性地震、微動の発生状況。島内の傾斜計及び伸縮計で、18 日 00 時頃から山体膨張を示す地殻変動を観測、21 日 04 時頃から 06 時頃にかけて緩やかに解消。 GNSS 連続観測では、島内の一部の基線で 2023 年 1 月頃から山体膨張とみられるわずかな伸びが認められたが、4 月頃から停滞。始良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟む基線では、長期にわたり地下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみられる。始良カルデラ地下のマグマ蓄積の状況。
		降灰予報(速報)	14 日 18 時 39 分 18 時 50 分	噴火発生から 1 時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	14 日 19 時 01 分	噴火発生から 6 時間先まで（1 時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	解説情報 第 10～17 号	2 日、5 日、9 日、12 日、16 日、19 日、23 日、26 日 16 時 00 分	新岳の噴煙の状況。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、少ない状態。古岳の噴煙は観測されず。 8 日の現地調査で、引き続き古岳火口東側及び新岳火口西側割れ目付近に地熱域を確認、特段の変化はなし。 古岳付近の浅いところで火山性地震が概ねやや多い状態。新岳付近の火山性地震は概ね少ない状態。GNSS 連続観測で、2023 年 6 月下旬頃からの古岳付近の膨張を示唆する変動は 11 月頃から停滞。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 10～17 号	2 日、5 日、9 日、12 日、16 日、19 日、23 日、26 日 16 時 00 分	火山性地震は、昨年 7 月下旬以降、概ね少ない状態で経過。山体の西側での膨張を示すと考えられる地殻変動は、11 月頃から停滞。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は 11 月下旬以降、500 トン/日前後で推移。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 6～9 号	2 日、9 日、16 日、23 日 16 時 00 分	現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、6 日は 1400t/day でやや多く、13 日、20 日はそれぞれ、2100t/day、2000t/day で多い状態。 GNSS 連続観測で、2023 年 12 月頃から草千里を挟む基線及び広域の基線において伸びの傾向が認められ、深部のマグマだまりへのマグマの蓄積が進行していると考えられる。夜間に高感度の監視カメラで火映を観測。 中岳西山腹観測点の 1 分間平均振幅は特段の変化はなく、火山性地震は少なく、孤立型微動はやや多い状態。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 6～9 号	5 日、12 日、19 日、26 日 16 時 00 分	火山性地震は少ない状態。火山性微動はなし。噴煙、火映、地殻変動等の火山活動の状況。

令和 6 年 2 月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 12～15 号	5 日、12 日、19 日、26 日 16 時 00 分	噴火活動が継続。爆発、大きな噴石の飛散、噴煙、火映の状況。集落周辺での降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。GNSS では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の増加を示す変動は認められない。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から 1 時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から 6 時間先まで (1 時間ごと) に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
鶴見岳・伽藍岳	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、 活火山であることに留意)	解説情報(臨時) 第 1～4 号	13 日 22 時 10 分 14 日 11 時 00 分 16 時 00 分 15 日 10 時 00 分	13 日 20 時 52 分と 21 時 02 分に山体浅部で振幅の大きな火山性地震が発生。その後、火山性地震は少ない状態で経過。14 日の現地調査では、鶴見岳地獄谷赤池噴気孔の噴気の状況や地熱域の分布に特段の変化はない。これらのことから、火山活動が高まる傾向は認められない。

注 1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注 2) 浅間山、阿蘇山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。